

地域医療機関の
先生方へ

アレルギー治療と 学業・仕事の両立を支援

藤田医科大学総合アレルギーセンター（ばんだね病院内）では、アレルギーの症状や治療が原因で学業や仕事に支障がでている——そんな方をサポートする“アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立支援”に取り組んでいます。患者さん一人ひとりの症状や状況に合わせて、専門医と支援チームが学校・職場と連携し、無理なく就学・就労を続けられる環境づくりをお手伝いします。

両立支援の実績（抜粋）

Case 1

疲れが溜まると
アレルギー症状が出てしまい、
仕事を休みがちに…



検査で症状の要因を検討し、対処法を助言。
職場にも相談し環境を整えたことで、症状をコントロールしながら就労を継続できた。



食物アレルギーで通院中。
職場の異動で通勤距離が長くなったことで、
じんましんが頻繁に出るようになり困っている。

Case 2

疲労やストレスがきっかけとなり、アレルギー症状が増悪した
可能性を職場に共有。就労先の配慮により、症状は落ち着いた。

Case 3

アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎の
症状がひどくて夜眠れない。
その結果、朝起きられず、
学校は欠席や早退が多くなっている。



学校側と担当医師で面談を実施。アレルギー疾患に加え、
起立性調節障害が体調不良の原因であることを共有。
保健室登校が許可され、早退・欠席の減少など通学状況が改善した。



Case 4

免疫性疾患のため、
入院加療が必要に。
家族は仕事が休めず、
自分しか子どもの面倒を見る
ことができないので、治療に専念できない。

治療に専念できるよう子育て支援先を紹介。
入院中は子どもを預けられ、治療に専念することが
できた。

病院と学校・職場をつなぐサポートネットワーク



主治医

病状・治療計画
の共有



藤田医科大学ばんだね病院
治療と就学・就労の両立支援チーム

患者さんのご要望に応じて
指導内容の共有



学校の保健管理担当
企業の人事労務担当

学校・企業

対象となる

患者さん・ご家族

例えば、職業性かぶれ（手湿疹）・鼻炎・喘息・食物アレルギー等の患者本人および、
頻回な通院が必要な難治性アレルギー疾患の小児の保護者

治療と就学・就労の両立にお悩みのアレルギー疾患の
患者さんをご紹介します

受診方法は総合アレルギーセンター ホームページ（受診方法＞初診の患者さん）
からもご確認ください



総合アレルギーセンター
ホームページ



ばんだね病院
外来医師担当表



藤田医科大学 総合アレルギーセンター
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GENERAL ALLERGY CENTER